

埋蔵文化財センター

総合文化情報センターと言えば図書館・博物館をさしますが、広い意味ではここに埋蔵文化財センターも含まれます。

いままでみてきたような発掘調査の成果は、単に現地の発掘調査からだけでは得られません。室内に調査成果を持ち帰って、土器の土を洗い落とし、図面を整理するなどの作業を通してわかってくるものです。このような作業は、長く南小学校の旧講堂を中心に進められてきました。しかし、これからは図書館・博物館と同時に完成する埋蔵文化財センターで行われることになります。



土器の接合作業は根気のいる仕事です。こんな作業も、新しくきれいな施設内では、きっとより順調に進むことでしょう。



完成した埋蔵文化財センター 延べ床面積約1700平方メートルの規模は町立としては全国最大クラスの施設です。



南小学校旧講堂にあった頃の出土遺物



2階部分はすべて収蔵庫となっています。いままでのベースで発掘調査をしても、向こう30年間はいっぱいにならない広さです。